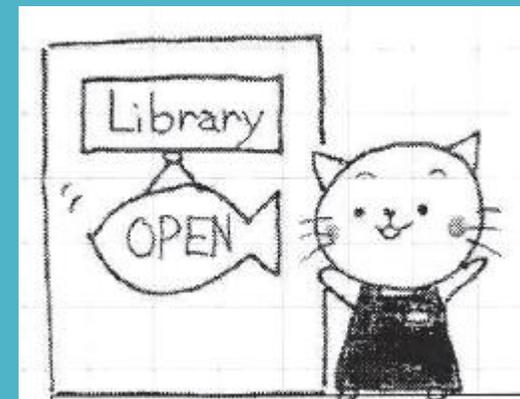


# 「学校司書の専門性を 訴え続けて」



 上田市小中学校図書館職員労働組合

# 組合の紹介

## 「10年雇止め」をきっかけに結成

- ・ 結成31年目を迎えた、長野県上田市の小中学校図書館職員34名の労働組合
- ・ 1992年1月「10年雇止め不当」の署名活動を当時の図書館職員が団結し行い、撤回させる。上田市の労働運動始まって以来の画期的なできごとであり、大きな力となった。
- ・ 1993年6月 雇用主と対等に話し合える唯一の方法として認められている「労働組合」、『上田市小中学校図書館職員労働組合』を立ち上げる。
- ・ 1994年10月 白書「だいすき学校図書館」をまとめる。

# 晴れて学校司書に



- ・2018年 「だいすき！学校図書館」  
～発信しよう 私たちの学校図書館～発行。  
関係各所に進呈する。

職種(名称)変更の要求のため、ひとり一枚の個人要請署名「私たちが学校司書として任用してください」（全組合員）提出。

- ・2019年2月 再要求に対し、職種(名称)を「学校司書」とするとの回答を得る。
- ・2019年4月 「学校司書」として任用される。

# 資格を根拠に専門職へ

2020年 会計年度任用職員制度が施行

2022年度3月1日付で春闘要求書を提出。  
8月4日に回答交渉を行う。

「司書資格を根拠とした処遇改善」の  
提案をされる。

# 執行部の方針

『市教委の提案を受け入れ、具体的な処遇改善の提案をしてもらう。合意できれば「資格あり」の人をまず上げてもらう。それから、資格のない人も、本人の努力や経験が蓄積されることを考慮し、5年、10年勤務している人は同じ格付けにしてもらうよう要求していく』

- ① 「資格なしの組合員の雇用の保障」を絶対条件とする。
- ② 資格のない職員についても、勤務年数をふまえた選考により、資格がある場合と同等の格付に昇給させることを重点要求にする。

この2点を確認。

教育委員会の提案に同意することを決定。

# 強靱な壁を突破！！

2023年12月 団体交渉

「資格のある職員について、現行に4号上乘せし、初任給1級5号俸に格付けるとともに、在職者についても経験年数に応じて4号俸の調整をする」という回答を得る。

専門性を認めてもらったことは、大きな前進。

# これからの課題

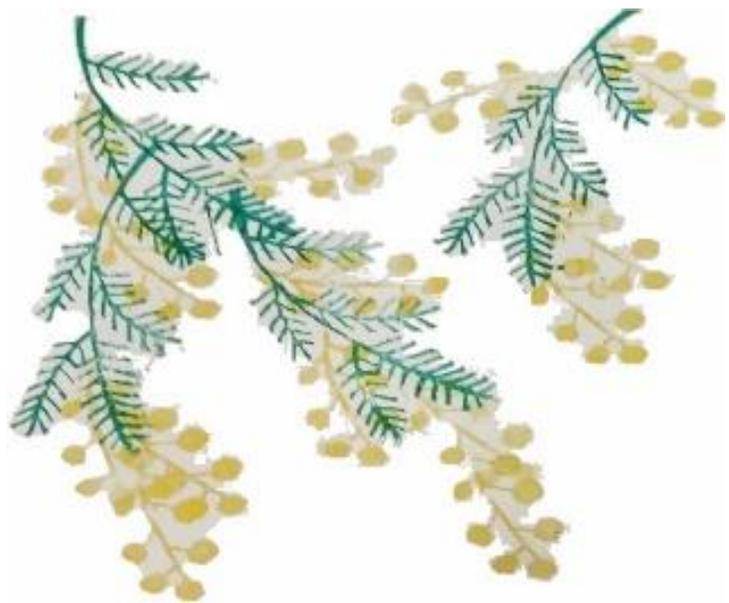
1 経験加算の上限を外す

2 月給制の検討

現状：年間214日 6時間パート 年収180万

3 安定した雇用

「公募によらない再度の任用」を基本に



「本が好き！  
子どもたちが好き！  
この仕事が好き！」  
だからがんばれる！！



図書館という場所、本を通じて  
子どもたちの成長にかかわれるのは、  
しあわせです。

